

肺葉切除術を受けられる方へ

	入院日	～	手術前日	手術当日			手術後1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	～	14日目 (退院)			
				手術前	手術室	手術後								～				
目標	□手術の目的、全身麻酔後の経過がわかる □不安を医療者に伝えることができる □呼吸訓練ができる			□手術部位を言うことができる □予定通りに手術室に行くことができる □苦痛時医療者に伝えることができる			□痰が出せる □痛み止めで痛みが軽減できる □歩くことができる						□退院後の生活の注意点が理解できる □退院することができる。					
治療	身体についている管やモニター類			点滴 → 食事の摂取量に応じて昼～夕で点滴を終了します 足のマッサージ(静脈血栓予防) → 歩行が開始できたら静脈血栓予防の機械を除去します 尿の管 → 管が抜けた後数日尿を袋に貯めます 胸の管 → 排液が減少したら抜きます 心電図 → 問題がなければはずします 痛み止めの入った背中の中の管酸素 → この頃から内服薬で痛みのコントロールができるようになります 素 → 酸素量は徐々に減らしていきます														
内服薬	持参された内服を続行するか担当医師が判断します。			寝る前に睡眠剤と下剤を内服します。			痛み止めを定期的に内服することもあります。						退院するまでに外来受診日までの内服薬の処方します。胸の管の抜糸は外来で行います					
検査	採血とレントゲン撮影を行います。						採血・レントゲン	採血・レントゲン	レントゲン	採血・レントゲン		採血・レントゲン						
測定	検温を1日1回行います。			起床後に検温します。起床後に体重を測ってください。			1～4時間毎適宜検温します。			適宜検温を行います。毎日朝食前に体重を測ります。(必要に応じて測定時に看護師が付き添いをします)								
活動	特に制限はありませんので、体力維持のため散歩などしてベッドから離れてお過ごしください。			基本的にベッド上安静です。身体の向きを変えられます。水を飲むときなどは座ることもできます。			看護師が付き添い、リハビリが始まります。起床後は座る練習から始め、状況に応じて歩く練習を行います。			病棟内歩行が可能です。			歩行は術後の回復を促します。日中は椅子に座る、散歩に行く(院内のみ)などして、ベッドから離れてお過ごしください。					
日常生活	清潔			入浴ができません。入浴し、髪の毛を洗ってください。爪も切ってください。			男性の方はひげを剃ってください。髪の毛の長い方はピンを使わず、ゴムでまとめてください。入れ歯を外してください。			身体を拭いて着替えます。			下半身浴、洗髪ができます。痛み止めの管と胸の管が抜けた次の日から入浴が可能です。肺炎予防のために歯磨きをして、口の中を清潔に保ちましょう。					
食事	特に制限はありませんが、食事治療が必要な方は治療食を召し上がっていただきます。			夕食後は何も食べないでください。飲水はできます。			午前の手術は3時間前まで飲水できます。午後の手術は9時まで飲水できます。(飲水できるのは水、お茶です)			手術4時間後に水を飲むテストをします。問題なければ飲水が可能です。			屋より食事が始まります。特に制限はありませんが、食事治療が必要な方は治療食を召し上がっていただく場合もあります。					
説明	看護師から入院生活、手術前後の経過や必要物品について説明します。			担当医師から手術の詳しい説明がありますのでご家族も同席ください。手術までに麻酔科受診があります。医師の指示が必要な人はリハビリ科受診があります。荷物をまとめます。			<付き添いの方へ> 受信専用のPHSをお渡しします。手術終了までは在院ください。3階の家族控え室がありますが、院内でしたらどこにいても構いません。			手術後は集中治療室(GICU)に入ります。ご家族に担当医師から手術の説明をいたします。ご本人には麻酔からしっかりさめた手術当日または翌日に説明します。			手術後1日目に元の病棟に戻ります。胸の管についている箱は絶対に倒したり、傾けたりしないでください。			痛みは我慢しないでお伝えください。痛み止めを使用しても無痛にはなりません、「安静にしていれば痛くない」「よく眠れる」程度を目標に、用量の許す限り、除痛に努めます。痛みが楽になったら手術後の肺炎予防や、肺の拡張を促すため、ベッドから離れてお過ごしください。		
呼吸訓練	深呼吸訓練器を1日50回以上を目標に行います。						痰が絡むときは、創部を抑えて咳をして、痰を出すようにしましょう。点滴、胸の管、酸素などに注意しながら散歩を行ってください。深呼吸訓練器は積極的にに行ってください。											